

学校教育目標：自ら考え本気で学ぶ子 明るく思いやりのある子 元気でやりぬく子



本気

春日部市立正善小学校
学校だより2月号
令和元年度 No.11
令和2年1月31日
全校児童数 407名

一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校

立春

校長 窪田 忍

大寒を過ぎ、梅を知らせる便りも聞かれる頃となりました。今年は暖冬で、春のような暖かい日もありますが、まだまだ寒い日が続きます。

さて、2月4日は立春ですが、その前日は節分です。節分というと豆まきが思い浮かびます。しかし、本来は季節の変わり目のことで、1年に4回あります。室町時代の頃から立春の前日のことだけを言うようになったそうです。また、『豆まき』は中国で行われていた鬼を払う追儺（ついな）の習慣が日本に伝えられたものだそうです。中国と日本の密接なつながりを感じます。

一方、校庭に目を移すと、木の芽は順調に春をまつ準備をしています。ここで冬の寒さと植物の関係について少し考えたいと思います。

「イチゴ」は春から初夏にかけて食べるものでした。しかし、今は冬の時から食べられます。12月にイチゴの実を赤くするために、イチゴの苗を寒い土地や冷蔵庫の中などにおいて冬を経験させるのだそうです。イチゴの成長には冬の寒さが必要なのです。

また、麦を作っている農家では「麦踏み」という麦を踏む仕事があります。麦踏みにより、霜柱ができたときでも土が持ち上がり、麦の根を傷めません。また、麦を踏むことにより茎がたくさん分かれ、根も強くなり、麦の生育を助けます。踏まれても起き上がる麦に力強さを感じます。

これを子どもたちの成長におきかえるならば、このような刺激も子どもたちにとっては、必要なものなのです。子どもたちは、このような経験を通して一人一人が大きく成長するのだと思います。

いよいよ進級・進学まで残り2ヶ月間となりました。子どもたちにとって、この2ヶ月間は自分の大きな成長のためにとっても大切な期間です。

○学習について→その学年で習った漢字や計算問題は確実にできるようにしましょう。そのためにも、家庭学習の習慣を身につけましょう。

○生活について→正善小あたりまえのこと17か条を守りましょう。

○体力・健康について→めあてをもって運動し、病気に負けない体をつくりましょう。

○心の成長について→最後までやり遂げる強い心、友だちを思いやる優しい心をもちましょう。

土の中でも虫や草花たちが、もうすぐ来る自分たちの出番を待っています。春を待つ木の芽のように。

この時期、子どもたち一人一人に新しい学年の芽をしっかりと太らせていきたいと思っています。

1月の正善小学校・・・寒い毎日ですが、元気に頑張っています。

◆6年生社会科見学◆

1月21日（火）に6年生が、「北の丸科学技術館」、「国会議事堂」へ社会科見学に行きました。「北の丸科学技術館」では、展示を見たり、科学について体験を通したりして学びました。「国会議事堂」では、法律を可決する疑似体験をしました。そして、バスレクをしたりお弁当を食べたり、良い思い出となりました。



◆5年生社会科見学◆

1月22日（水）に5年生が、「ロッテ浦和工場」、「川口スキップシティ」へ社会科見学に行きました。「ロッテ工場」では、お菓子ができるまでの工程を見学しました。「スキップシティ」では情報に関する学習をし、自分たちでニュースの作成をしました。どちらも大変興味深く見学でき、貴重な体験でした。



◆市内書き初め展◆

1月18日（土）、19日（日）に匠大塚にて、市内書き初め展覧会が開催されました。昨年から昼休みや放課後の時間を使って練習してきた選手が出品されました。推薦を受けた作品は、今月25日（土）27日（日）開催の県展に出品されました。



◆チェンジ大作戦◆

1月20日（月）～24日（金）にチェンジ大作戦が行われました。あいさつや黙想（黙って清掃）ができる、シールがもらえます。代表委員も正門前で、あいさつをしました。元気とやる気をもらいました。



◆第3回放課後子ども教室◆

1月20日（月）に今年度最後の放課後子ども教室（なわとび遊び）を行いました。短なわの記録会と長なわの練習をしました。春を思わせるような良い天気にも恵まれ、子どもたちの元気な声が、校庭から聞こえてきました。特に1、2年生は高学年のお兄さんお姉さんや地域の方々にも教わり、とても上達しました。

